

第48回 沖縄県保育研究大会

開催要項

～「すべての子どもの権利と育ちを保障していく社会の実現」をめざして～

1. 趣 旨
- 近年、地域や家庭での養育力の低下、子育て家庭の地域からの孤立等による子どもの貧困問題や児童虐待の増加等、子どもと子育て家庭を取り巻く生活・福祉課題への対応が求められています。
- そのような状況の中、子ども・子育て支援新制度は8年目を迎え、各市町村においても「第2期市町村子ども・子育て支援事業計画（令和2～6年度）」により保育・児童福祉の推進が図られています。
- また、幼児教育・保育の無償化の導入や児童福祉法及び児童虐待防止法の改正等、子どもをめぐる諸制度も大きく変化してきました。
- こうした情勢をふまえ、保育関係者は、すべての子どもの最善の利益を保障する児童福祉法の理念を遵守し、これまで培ってきた保育の営みの大切さを広く社会に発信する必要があります。
- 本研究大会では、多様な側面から保育・子育て支援に関する研究討議を深め、先駆的、効果的な実践を学びあうことにより、その質の向上と保育実践の一層の向上を図ることを目的に開催いたします。

2. 主 催 社会福祉法人 沖縄県社会福祉協議会、沖縄県保育協議会

3. 後 援 沖縄県、各市町村（予定）

4. 協 賛 沖縄タイムス社、琉球新報社、NHK沖縄放送局、琉球放送、沖縄テレビ放送、琉球朝日放送、ラジオ沖縄、エフエム沖縄（予定／順不同）

5. 会 期 令和5年1月28日(土)

6. 会 場 沖縄コンベンションセンター劇場棟・会議場A1
(宜野湾市真志喜4丁目3-1)

7. 日 程 11:50 12:20 12:50 14:20 14:30 16:40 16:45

受付	式典・ 宣言文採択	記念講演 (リモート講演)	休憩 舞台転換	分科会 ※発表・助言のみ	閉会
----	--------------	------------------	------------	-----------------	----

8. 参加対象 沖縄県内の保育関係者（保護者を含む）

9. 参加費 1人あたり、次のとおりです。

	公立(公設民営を含む)・行政職員		法人立
	市立・市行政	町村立、町村行政	
会 員	4,500円	4,000円	3,500円
非会員	6,000円		

※非会員とは、令和4年度沖縄県保育協議会職員名簿提出の際に、お名前のない方です。

10. 記念講演

『親ガチャ』ではなく、『子どもと親と保育者の国』へ

～ 保育施設にできること ～

講師：掛札 逸美 さん（保育の安全研究・教育センター 代表理事）

1964年生まれ。筑波大学卒。
 （公財）東京都予防医学協会広報室に10年以上勤務。
 2003年 コロラド州立大学大学院に留学。
 健康心理学を専攻。
 2008年2月 心理学博士号取得。同5月卒業、帰国。
 2008年6月 産業技術総合研究所特別研究員
 （～2013年3月）
 2013年4月 NPO法人保育の安全研究・教育センター
 設立・代表理事（2020年3月にNPO返上）



【訳書】

『ペアレント・ネイション（副題未定）』（2022年）

『3000万語の格差：赤ちゃんの脳をつくる、親と保育者の話しかけ』（2018年）

【安全と新型コロナに関する情報】

Facebookで「保育の安全研究・教育センター」

<https://www.facebook.com/daycaresafety/>

11. 分科会

※第1分科会と第3分科会が同じ時間帯に実施され、その後、第2分科会とフリー分科会が同じ時間帯に実施されます。

※第1分科会(第3分科会)に参加後、休憩(入れ替え)中に会議棟A1(または、劇場棟)に移動し、フリー分科会(第2分科会)に参加することも可能です。

※なお、今大会では新型コロナウイルス感染症対策により、グループワークは実施いたしません。

14:30

15:30

15:40

16:40

16:45

劇場棟	第1分科会	休憩	第2分科会	閉会
会議棟A1	第3分科会	(入れ替え)	フリー分科会	

保育者の資質向上を図り、保育現場の魅力を発信する	
第1分科会	<p>保育所・認定こども園等における今日的状況として、職員の就業形態や雇用形態の多様化とともに働き方改革がすすめられています。職員間の連携、チームワークの形成や、職場全体としてのスキルアップとともに、働きやすい職場づくりに一層留意する必要があります。</p> <p>子ども・子育て支援制度施行後、多様化する利用者のニーズに対応するとともに、保育現場の魅力を発信しながら、人材の確保・育成に努めていく必要があります。</p> <p>本テーマでは、保育所・認定こども園等の内外の研修や情報共有のあり方、保育者の自己評価など、職員の資質向上におけた効果的な実践と保育現場の魅力発信の取り組み、さらには保育現場に求められる働きやすく、やりがいのある職場づくりについて研究を深めます。</p>
	<p>助言者 沖縄キリスト教短期大学 保育科 教授 照屋 建太 氏</p>
	<p>発表者 仲井真こども園 「職員の資質向上を高めるコミュニケーション力とチーム作り ～日々の会話とチューター制度から見えてきたもの～」</p> <p>つばみ保育園 「組織の在り方と保育の発展 ～保育の転換期から見えた、共通理解の必要性～」</p>

第2分科会	地域の子育て家庭への支援の充実に向けて	
	<p>保育所保育指針においては、保育所の役割として、保護者に対する支援と地域における子育て支援が明確に位置づけられています。また、新たな幼保連携型認定こども園では、子育て支援の実施が義務付けられています。</p> <p>一方で地域のつながりが弱まるなか、子育てに孤立感や孤独感を深めている家庭へのアプローチが、とくに重要な取り組みとなっています。</p> <p>本テーマでは、地域子育て支援における保育所・認定こども園等の機能や、保育者に求められる知識や技術を、いかに地域支援に活かしていくかなど、地域の子育て家庭に対する支援のあり方について、研究を深めます。</p>	
	助言者	沖縄女子短期大学 児童教育学科 教授 砂川 麻世 氏
	発表者	<p>あらしろ保育園 「地域に見守られた子育て環境」</p> <p>中城村吉の浦保育所 「喜び育ち合える園庭開放をめざして」</p>
第3分科会	子どものより良い育ちと安全・安心の環境づくりにおけた 関係機関とのネットワーク	
	<p>子どものより良い育ちにおけた、保育所・認定こども園等、小学校さらに中学校との連携は、子ども一人ひとりの成長を連続的にとらえる視点として重要です。</p> <p>また、子ども・子育て制度では各市町村で策定された「子ども・子育て支援事業計画（都道府県においては子ども・子育て支援事業支援計画）」に基づき事業実施が行われ、各地域の保育施策の充実化におけたは、社会福祉法人をはじめとする保育・子育て支援関係者と各地域の行政機関等との連携や、信頼関係の構築もいっそう大切となります。</p> <p>さらには、子どもの貧困に起因する課題への対応、児童虐待予防、病児・病後児保育、さらには災害対応など、保育所・認定こども園等単体のみならず、地域の関係各機関と連携・協働をもってすすめるべき取り組みは多くあります。</p> <p>本テーマでは、子どものより良い育ちにおけた、多様な機関との連携・協働のすすめ方や保育所・認定こども園等が果たすべき役割などについて研究を深めます。</p>	
	助言者	名和市立大学 保健福祉学部 特命教授 猪熊 弘子 氏
	発表者	<p>コスモストーリー保育園 「『子どもの声』を中心とした保幼小接続」</p> <p>風のわ保育園 「楽しい食事から元気な身体へ ～保護者への働きかけから変わる食育～」</p>
フリー分科会	ポスター発表	
	発表者	<p>こがねの森保育園 「身近な廃材をつかって年齢別にみた子ども達の発想力」</p>
		<p>こざくら保育園 「めぞう！子どもと保育者がともにワクワクする保育 ～行事の変化を通してみえた子ども姿～」</p>
		<p>わかさ保育園 「豊かな園庭環境をめざして ～3つの環境からみえてきたもの～」</p>
<p>豊見城市座安保育所 「年齢に応じた学びの保障 ～園庭環境の見直しを通して～」</p>		

12. 申込方法

(1) 本会ホームページからお申込みください。

「受講申込入力フォーム」へアクセスし、必要事項を入力の上、令和4年12月16日(金)17時までに送信してください。

<https://www.okishakyo.or.jp/workshop/>

※最終ページで「自分にも送信内容のメールを送る。」に必ず✓マークを入れてください。受付完了後、確認メールが登録されたメールアドレスに自動送信されます。(確認メールが届かない場合はお問い合わせください)。

(2) 令和5年1月中旬ごろ、「資料引換券」をお送りいたします。

(3) 当日の欠席については、参加費は返金いたしかねます。

(4) 大会役員、発表者(各園1名のみ)、係員は参加費が免除となります。申込用紙の備考に「役員」または「発表」「係員」と御記載ください。

(5) お申し込みと合わせて下記本会指定口座へ参加費をお振込みください。

(6) 振込手数料は申込者にて御負担ください。

(7) 申込後のキャンセルについては返金いたしません。

(8) 参加費の現金納付は受け付けいたしません。

金融機関：琉球銀行 石嶺支店 普通預金

口座番号：315911

口座名義：社会福祉法人 沖縄県社会福祉協議会 会長 湧川昌秀

フリガナ：フク、オキナワケンシャカイフクシキョウギカイ

※お振込みの際は、法人名ではなく●●**保育園**として御入金ください。

13. 申込締切

令和4年12月16日(金)17時まで

14. 新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けたお願い

(1) 感染拡大防止の観点から、受講の際は下記の点をすべて満たしたうえご参加ください。

① 大会当日は、自宅で必ず検温を行い、その結果を「資料引換券」(1月中旬発送予定)に併記されている『参加上の注意事項』内に記入の上、会場の受付へ提出ください。

② 必ずマスクの着用して御参加ください。

(2) 発熱等の症状がある場合、入場をお断りさせていただきます。なお、参加費の返金はいたしかねます(後日、資料を所属施設に郵送させていただきます)。

(3) 新型コロナウイルス感染症拡大の状況により、全てオンライン開催に切り替わる可能性もございます。事前にインターネット環境についても御確認ください。

15. 個人情報のお取り扱い

参加申込書に記載されております個人情報は、本大会の運営管理の目的にのみ使用し、他の目的に使用することはありません。

16. 申込先及びお問合せ先

沖縄県保育協議会・事務局(担当：仲村政利・翁長湖夏)

社会福祉法人 沖縄県社会福祉協議会 施設団体福祉部

〒903-8603 那覇市首里石嶺町4-373-1(西棟4階)

TEL: 098-887-2000 FAX: 098-887-2024

E-mail: hokyo@okishakyo.or.jp